

1. センサーの楽器への取付け

このピックアップの楽器への取り付けには高度な専門的技術が必要です。取り付けは専門の楽器技術者に依頼することを強くお勧め致します。また、現在お使いの駒の状態によっては、駒の交換が必要となる場合もありますので専門の楽器技術者にご相談ください。弊社にて専門の楽器技術者をご紹介することもできますので、お気軽にお問い合わせください。

なお、取り付けの際には別紙の「山彦ベースピックアップ CPS-DB 型取付け図」を取付行う方にご提示下さい。

2. ケーブル接続の前に弦高調整を

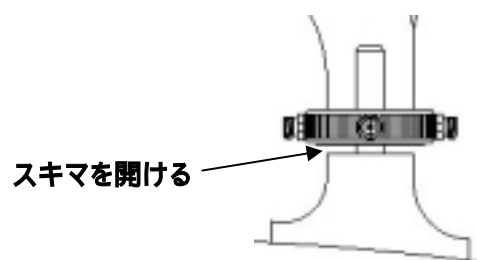
ケーブルを接続する前にセンサー本体を回転させて弦高を調整して下さい。

今後弦高調整をする場合はケーブルを取り外してからセンサーを回転させて下さい。

センサーは下の図1のように、コネクタが上下、左右に向く位置で止めるようにすると、ケーブルの形がきれいに接続できます。

ケーブルを取付けたままセンサーを回転させることは避けて下さい。ケーブルの断線や、楽器に傷を付ける原因となることがありますのでご注意下さい。

(注意) センサーの下面と駒の足がピッタリくっつくまでセンサーを下げると音色が大きく変化することがありますのでご注意下さい。



3. センサーの4個のコネクタ

これら4個のコネクタは内部で一つになっていますので、どのコネクタに接続しても全く同じです。接続しやすいところに接続して下さい。

4. センサーの接続と音の関係

センサーを2個使う場合

音色: どのポジションで演奏しても音量バランスが良く、力強く自然
右の図は駒を上から見たものです。

センサーを2個使う場合は右の図1のように接続します。

アウトプットケーブルはE弦側またはG弦側のセンサーに接続することになりますが、微妙に音色が異なりますので両方お試し頂き決定して下さい。

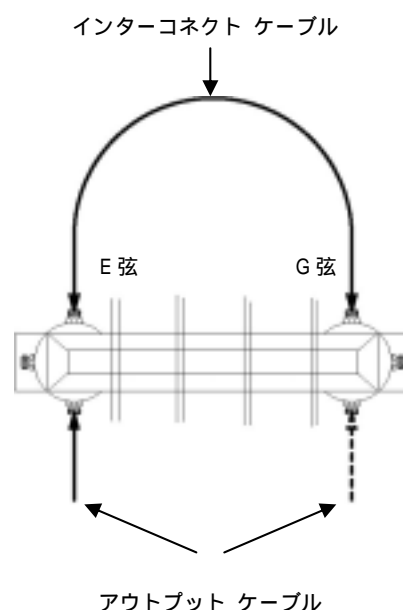
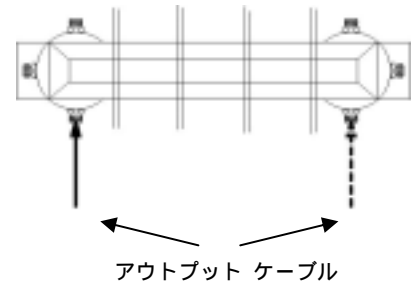


図 1

センサーを1個で使う場合

音色: バランスの偏った音色になることが多い

楽器によっては魅力ある音を得られることもありますのでお試しください。



5.コネクタの接続

どのような接続にするか決まったらそれぞれのケーブルを接続します。

センサーには特殊な小型コネクタがついていますので、その接続方法をご説明します。



先ずケーブル側のコネクタのピンをセンサーのコネクタの中心の金色のところへ差し込み、次にコネクタ外周のネジをしっかりと締めれば取付け完了です。

6.アウトプットケーブルのジャックの取付け

アウトプットジャックはテイルピースに取付けて下さい。

差し口を演奏者側に向けて取付けると使いやすいと思います。

このとき**黒くて細いケーブルが他のものに接触しないように**形をつけて下さい。センサー側のコネクタをゆるめて、ケーブルをよじるとうまく格好がつかます。格好がついたらコネクタのネジをまたしっかりと締めおいて下さい。

ジャックが目立たないように、テイルピースの裏側に取付けることもできます。



7.ジャックの外し方

取付けタイのかりかり言うところに小さな爪があるのでこれをジャック側に倒すとタイがゆるみます。



お問い合わせは

有限会社 ソナリサーチ

URL <http://www.yamahiko.info>

〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台 6-3-2-306

TEL 0466-42-6053 FAX 0466-42-6054

e-mail cs@yamahiko.info